

# 大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761  
携帯電話 090-3961-8578  
E-mail [toukai@oona-mieko.info](mailto:toukai@oona-mieko.info)

## 核燃料サイクル工学研究所を視察 (7/9 原特委)

- ①ガラス固化技術開発施設・・・→溶融炉の更新(3号溶融炉活用を2026年から)。津波対策等。
- ②地層処分基盤研究施設・・・→処分先は1ヵ所も決まっています。わが町に処分場はいらない!!

◆津波漂流物防護柵(引き波)の設置工事の進捗状況(令和5年1月)

◆ガラス固化技術開発施設(TVF)の竜巻防護対策として、当該建家の開口部に防護板、防護扉及び防護フードを設置し閉止する。

作業期間は、2022年10月3日から2024年3月29日。

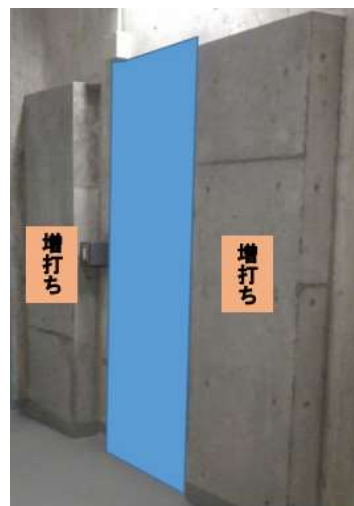
(2024年3月29日に設置工事を完了。2024年5月30日に設置後の検査を完了。)



対策は主なものの紹介です



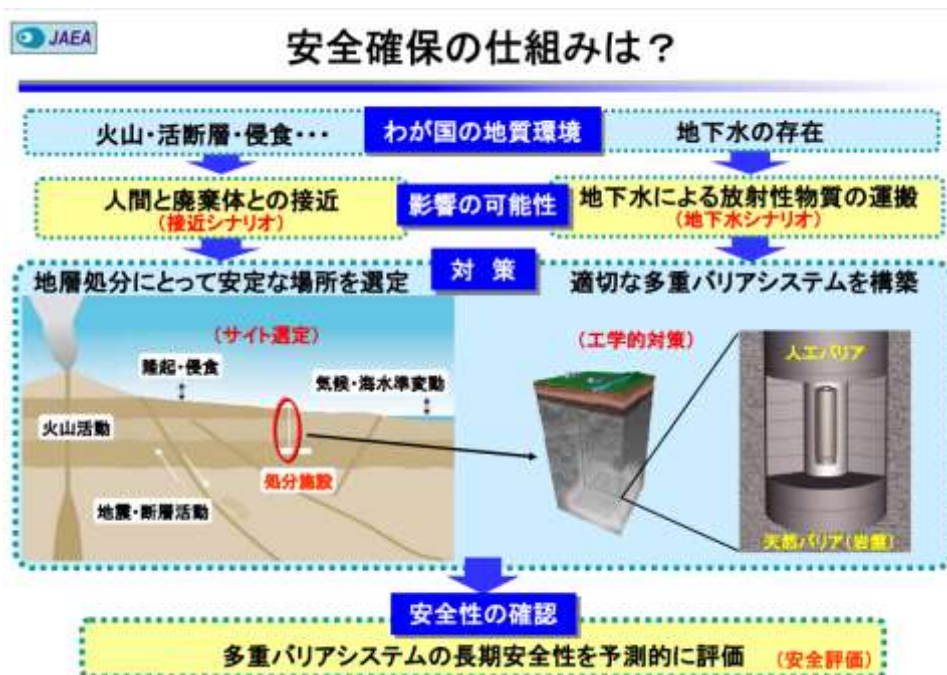
鉄骨梁補強箇所の状況 (浸水防止扉)



コンクリート増打ち箇所の状況

●漂流物の重量や衝突力等の想定と  
はできるものなのでしょうか？

## 高レベル放射性廃棄物を安全に処分する考え方



みなさまのご意見をお寄せ下さい!

津波対策では、敷地に海水が入ることが前提です。

また、高レベル放射性廃棄物の処分は、「文献」「概要」「精密」の3段階の調査を経るとのことですが、反対意見が多く処分地は国内に1ヵ所も存在しません。

ガラス固化処理もこれまで中断続き、今後四角錐から円錐に変更させた3号溶融炉を2026年から稼働とのことですが、これ以上の高放射性はもとより放射性廃棄物を増やしてはならないと改めて認識しました。